

平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ともに育ち ともに生きる社会づくりを進める事業 (キャリア教育 ボランティア育成 子育て支援 仲間づくり)
事業主体 (連絡先)	NPO 法人 ともそだちプラネット 0266-55-6302 tomosodachikaya@gmail.com
事業区分	(6) 産業振興・雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,014,894 円 (うち支援金: 701,000 円)

事業内容

- 1 集団への適応や対人関係面での困難さを持つグレーゾーンと言われる子どもたちに対して、個別的な支援を実施し、学習や遊びや仲間づくりの機会を提供した。
- 2 ボランティア講座とハッピードリームフェスティバルを実施し、若い世代の高校生、大学生に「ともに育ち、ともに生きる」コミュニティーづくりへの理解と参加を広げた。
- 3 子育て講座を実施し、保護者の子育てを支援するとともに、保護者同士のつながりや助け合いの輪を広げる機会を提供した。
- 4 スマイルチャレンジを年4回実施し、困難さをもつ子どもと地域の児童生徒がともに自然体験をする機会をつくり、ともに遊び理解し合う取り組みを行った。



(活動)

【2016/2/28 スマイルチャレンジ】

【目標・ねらい】

- ① 困難を持つ青少年の生活支援
- ② 若い世代へのボランティア活動の普及。市民の理解促進。
- ③ 子育て支援、家庭支援
- ④ 共生社会の実現

事業効果

- 1 特性に応じた支援を実施したことにより、学習面で自信が持てるようになり、学校でも特別な支援が受けられるようになった。また、活動の中で、子供同士でお互いに助け合うなどの場面も見られるようになり、対人関係の困難さが軽減している。
- 2 ボランティア活動の意味と役割を地域に広げることができた。また、ボランティア講師に実際に子ども達の支援について指導して頂いたことにより、ボランティアの子供たちへの関わり方が自立を促す支援へと変わってきた。
- 3 講座をきっかけに、困難さをもつ子どもたちの母親たちの子育てのネットワークづくりができた。
- 4 自然体験などを通じて、困難さがある子もない子も一緒に遊ぶ関係が生まれ、「ともに育ちあい、ともに生きる」感覚を身に着ける機会を作れた。

※自己評価 【 A 】

【理由】

NPO 法人を取得し、放課後等デイサービス事業も開始したことで、学校も含めさらに多くの機関と連携しながら、活動を展開できた。また、岡谷市だけでなく、諏訪地域全体に活動が周知されるようになった。

今後の取り組み

困難さを抱える人たち自身が地域社会の担い手として力を発揮できる仕組みを作っていく。そのために、本人の困難さを軽減し力を伸ばせる指導や支援の機会を、放課後等デイサービス事業やタイムケア事業、クラブ活動などを通じ、より充実させる。そして、個々の能力を伸ばし、他者と協力して物事に取り組めるようになった子供たちが、就労という形で社会参加し、地域に貢献できるようにプレジョブの取り組みを進める。また、共生社会の実現に向けて、ボランティア養成と仲間づくり活動に継続して取り組む。また、子育て支援の輪を広げるため、子育て講座を継続すると共に、保護者が気軽に集まれる子育てカフェを月1回程度開催する。